

# 第137期 中間報告書

＜平成27年4月1日～平成27年9月30日＞



# 「もの」づくり、人の「暮らし」を支える

# 東陽倉庫

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループ第137期中間期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の中間報告書をお届けいたします。



代表取締役会長 白石 好孝



代表取締役社長 武藤 正春

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、輸出や生産に中国と新興国経済の減速の影響がみられ、横ばい圏内の動きとなってきました。しかし、設備投資は引き続き増加傾向にあり、個人消費においても雇用・所得環境が着実に改善する中、持ち直しております。

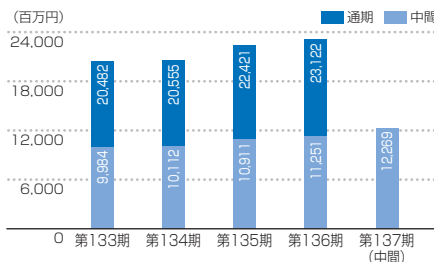
物流業界の貨物取扱量は、国内貨物は、年初より取扱量は前年と比べ減少傾向にあり、特に、電気機械、紙パルプ、食料工業品の在庫量は軟調に推移いたしました。輸出貨物は、完成自動車や自動車部品等が減少いたしました。一方、輸入貨物は、LNGや鉄鉱石等が減少いたしました。在庫量は期間を通じて高水準で推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、「もの」

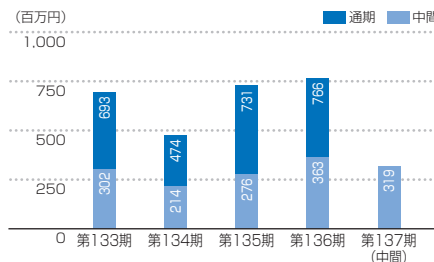
## FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

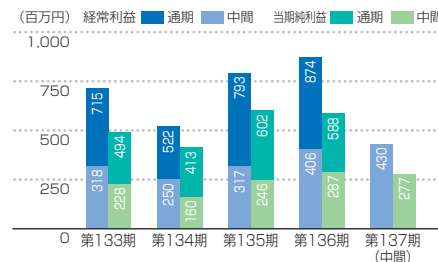
### 営業収益



### 営業利益



### 経常利益・当期純利益



づくりと人の「暮らし」を支える”総合物流企業として、社会と人々の生活に役立つという理念の下、より一層の営業力の強化と業務品質の向上を図るとともに、経営の効率化を推進し経費の節減に努めてまいりました。

こうした中、国内物流事業においては、4月に橋本営業所（相模原市）を開設し通信機器の取扱いを開始いたしました。また、6月に小牧営業所（小牧市）に危険品倉庫を新設し稼働いたしました。さらに、平成26年度に取扱いを開始したコンビニエンスストアの配送センターおよび化学薬品の取扱いが、年度初めより寄与いたしました。

倉庫貨物取扱高は88万3千トン（前年同期比6.6%増）、倉庫貨物期中平均月末残高は8万7千トン（前年同期比1.2%減）、陸上運送取扱高は40万トン（前年同期比3.1%減）となりました。営業収益は72億4千3百万円となり、前年同期比10億9千6百万円（17.8%）の増収となりました。

一方、国際物流事業においては、9月に大阪堂島商品取引所の米穀指定倉庫の指定を受け、農産品の取扱いを拡充いたしました。また、新規営業により7月に食品卸の配送センター（名古屋市）を開始いたしました。さらに、海外物流拠点のネットワークを拡

充してきたことにより、国際複合輸送の取扱いが増加いたしました。しかし、名古屋港における港湾貨物の取扱いは全般的に低調に推移いたしました。

港湾貨物総取扱高は92万9千トン（前年同期比3.0%減）、倉庫貨物期中平均月末残高は10万4千トン（前年同期比5.6%増）、陸上運送取扱高は57万2千トン（前年同期比2.8%減）となりました。営業収益は48億6千8百万円となり、前年同期比2千3百万円（△0.5%）の減収となりました。

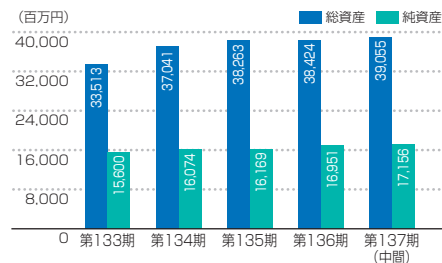
また、不動産事業においては、納屋橋東地区再開発事業の開始により時間貸駐車場を閉鎖いたしました。営業収益は1億5千7百万円となり、前年同期比7千5百万円（△32.5%）の減収となりました。

この結果、連結営業収益は122億6千9百万円（前年同期比9.0%増）となりました。連結経常利益は、4億3千万円となり、前年同期比2千3百万円（5.8%）の増益となりました。特別損益等を加減いたしました結果、連結中間純利益は2億7千7百万円となり、前年同期比9百万円（△3.3%）の減益となりました。

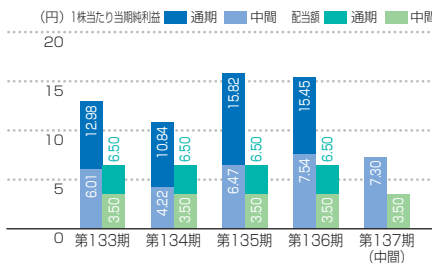
株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

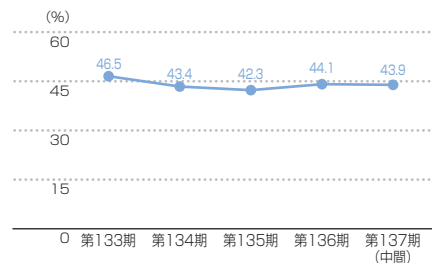
### 総資産・純資産



### 1株当たり当期純利益・配当額



### 自己資本比率



## 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間期	前期
	[平成27年 9月30日現在]	[平成27年 3月31日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産	9,484,218	8,749,672
固定資産	29,571,534	29,675,203
(有形固定資産)	20,882,079	20,976,740
(無形固定資産)	244,294	260,158
(投資その他の資産)	8,445,160	8,438,304
<b>資産合計</b>	<b>39,055,753</b>	<b>38,424,876</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,550,339	8,245,523
固定負債	13,349,026	13,227,653
<b>負債合計</b>	<b>21,899,366</b>	<b>21,473,176</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,472,748	16,309,838
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,178,906	2,178,906
利益剰余金	11,173,079	11,009,502
自己株式	△291,762	△291,095
その他の包括利益累計額	683,639	641,861
その他有価証券評価差額金	869,255	816,258
退職給付に係る調整累計額	△185,616	△174,397
<b>純資産合計</b>	<b>17,156,387</b>	<b>16,951,699</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>39,055,753</b>	<b>38,424,876</b>

**資産の部** 主に、現金及び預金などの増加により、資産合計は、前連結会計年度末に比べ、6億3千万円の増加となりました。

**負債の部** 主に、支払手形及び営業未払金などの増加により、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、4億2千6百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は17億3千8百万円となり、前年同四半期より1千7百万円の増加となりました。

**営業活動によるキャッシュ・フロー** 主に、仕入債務の増加などにより、前年同四半期に比べ、収入が3億6千7百万円増加し、8億4千8百万円の収入となりました。

**投資活動によるキャッシュ・フロー** 主に、有形固定資産の取得などにより、前年同四半期に比べ、支出が2億1千5百万円増加し、6億1百万円の支出となりました。

**財務活動によるキャッシュ・フロー** 主に、借入れによる収入の増加などにより、1億5千8百万円の収入（前年同四半期は7千4百万円の支出）となりました。

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	[自平成27年4月1日 至平成27年9月30日]	[自平成26年4月1日 至平成26年9月30日]
<b>営業収益</b>	<b>12,269,020</b>	<b>11,251,787</b>
営業原価	11,502,543	10,458,944
<b>営業総利益</b>	<b>766,477</b>	<b>792,843</b>
販売費及び一般管理費	446,768	429,665
<b>営業利益</b>	<b>319,709</b>	<b>363,177</b>
営業外収益	179,411	132,895
営業外費用	69,027	89,633
<b>経常利益</b>	<b>430,093</b>	<b>406,439</b>
特別利益	19,981	1,771
特別損失	18,724	264
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>431,350</b>	<b>407,946</b>
法人税、住民税及び事業税	133,889	85,928
法人税等調整額	19,629	34,848
<b>中間純利益</b>	<b>277,831</b>	<b>287,170</b>

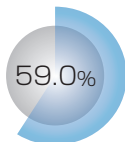
## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

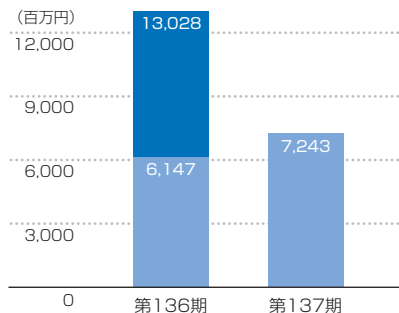
科 目	当中間期	前中間期
	[自平成27年4月1日 至平成27年9月30日]	[自平成26年4月1日 至平成26年9月30日]
営業活動によるキャッシュ・フロー	848,429	480,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△601,281	△385,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,865	△74,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,768	1,708
現金及び現金同等物の増減額	407,783	23,092
現金及び現金同等物の期首残高	1,331,081	1,698,590
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,738,864	1,721,682

→

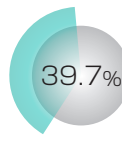
### 国内物流事業部門



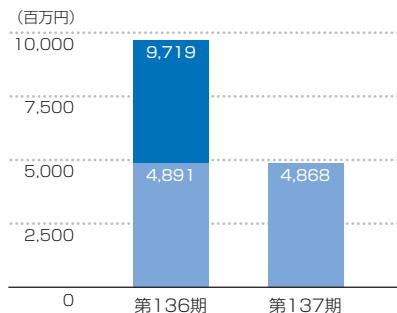
■ 営業収益（通期）  
■ 営業収益（中間期）



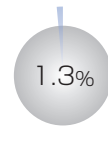
### 国際物流事業部門



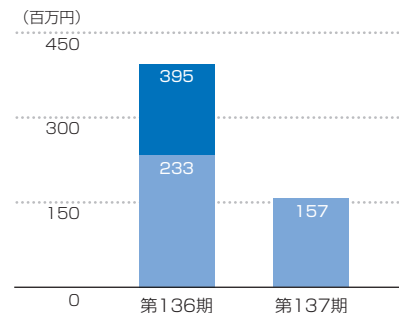
■ 営業収益（通期）  
■ 営業収益（中間期）



### 不動産事業部門



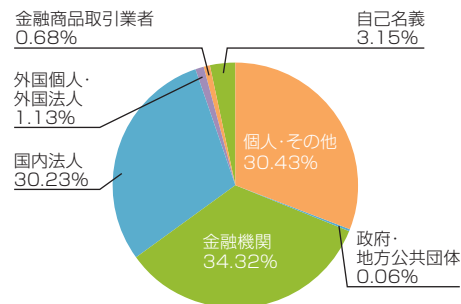
■ 営業収益（通期）  
■ 営業収益（中間期）



### 株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株  
発行済株式の総数 39,324,953株  
株主数 3,783名

### 所有者別持株状況



### 大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
ダイセイ倉庫運輸株式会社	1,800	4.57
株式会社中京銀行	1,432	3.64
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,270	3.23
東陽倉庫株式会社	1,242	3.15
伏見興産株式会社	1,174	2.98
第一生命保険株式会社	1,172	2.98
三井住友海上火災保険株式会社	1,103	2.80
中京テレビ放送株式会社	1,000	2.54
明治安田生命保険相互会社	976	2.48
株式会社愛知銀行	974	2.47

(注) 本中間報告書は、次により記載いたしております。

- 金額およびトン数は、表示単位未満を切り捨て、比率は表示単位未満を四捨五入しております。
- 株式数は千株未満を、持株比率は表示単位未満を切り捨てております。

## 概要

商号：東陽倉庫株式会社 (TOYO LOGISTICS CO.,LTD.)

所在地：名古屋市市中村区名駅南二丁目6番17号

設立：大正15年3月13日

資本金：3,412百万円

事業：総合物流事業・不動産事業

当社は、次の認証等を取得しております。

プライバシーマーク

AEO (認定通関業者・特定保税承認者)

ISO14001 (本社、国内営業本部 [小牧営業所、名古屋営業所 (大口倉庫)、トランクルーム部]、国際営業本部 [住化物流営業所]、東京営業本部 [市川営業所、相模原営業所、宇都宮営業所])

OHSAS18001 (本社、国内営業本部 [小牧営業所、名古屋営業所 (大口倉庫)、トランクルーム部]、東京営業本部 [市川営業所、相模原営業所、宇都宮営業所])

ISO9001 (輸出海上貨物取扱)、ISO27001 (トランクルーム部)

## グループ会社

国内	東陽物流株式会社
海外 (※)	TOYO LOGISTICS AMERICA,INC.(米国)
	東誉 (上海) 国際貨運代理有限公司 (中国)
	TOYO LOGISTICS(S) PTE.LTD.(シンガポール・ミャンマー)
	TOYO LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)
	TOYO AIG LOGISTICS (MYANMAR) CO.,LTD. (ミャンマー)

※非連結子会社

## 株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会：6月下旬

単元株式数：1,000株

公告の方法：当社ホームページ  
(<http://www.toyo-logistics.co.jp/>)  
に掲載いたします。

ただし、やむを得ない事由により上記において提供できないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

## 役員

代表取締役会長：白石 好孝

代表取締役社長：武藤 正春

取締役 (常務執行役員)：山岸 博之

取締役 (上席執行役員)：大橋 宏道

取締役 (執行役員)：伊木 善秀

取締役 (執行役員)：青山 章

取締役：今井 和光

社外取締役：長田 博

常勤監査役：森 真悟

社外監査役：近藤 克麿

社外監査役：入谷 正章

執行役員：若山 英二

執行役員：黒田 城児

執行役員：日高 公司

執行役員：渡邊 誠

執行役員：山本 昭人

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先：〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

特別口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

上場市場：東京証券取引所  
名古屋証券取引所 (各市場第一部)